

記事を読み、自分の言葉で相手にわかりやすく伝えよう。

上田市立菅平中学校 岡部 仁

1 本校のNIEの現状

(1) 理科

- ・ 科学に関する記事を紹介する。
- ・ 本校で行った外部講師による授業の新聞記事を紹介する。

(2) 学級活動

- ・ 学級通信にコラムを毎週のせ、感想を書かせる。
- ・ 気になった新聞記事を担任が切り抜き紹介する。
- ・ 昇降口に掲示する。

(3) 職員研修

- ・ 電子黒板、教員免許更新、教育問題への対応など教育に関する記事を回覧する。

2 NIE実践のねらい

新聞記事を使って、記事の内容やデータの解釈を自分のことばや描画、グラフ、表で表現し、相手にわかりやすく伝えることができる。

3 研究の概要

(1) 実践した教科等 総合的な学習の時間

(2) 新聞の提供状況

新聞の置き場の工夫 昇降口に新聞を置き、いつでも見られるようにしている。

(3) 新聞を取り入れた実践をする上で特に工夫したこと

- ・ 読売新聞社出前授業「ことばの授業」で記者からコラムの書き方を学び、高校入試の自己推薦文に役立てる。
- ・ 記事の一部を隠し、そこにどんな文章が入るか推測させる。
- ・ コラムを紹介し感想を書かせ、毎週発行する学級通信に感想を載せる。

4 NIE実践の内容 (その1)

(1) 日時 11月10日(火) 13時50分～14時40分

(2) 担当者 岡部 仁

(3) 生徒 中学3年生

(4) 内容

子どもの権利条約が国連で採択されてから今年で20年。日本に住んでいる生徒にとっては当たり前の権利が守られていないことを黒柳徹子さんの新聞記事から知る。

(5) 指導案

時間	講義内容・活動	準備物・留意点
----	---------	---------

10分	<p>「これまで14年、15年と生きてきた君たち。生きていくために必要なものは何ですか。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・プロジェクター ・スクリーン
15分	<p>家 食べ物 水 衣類 お父さん、お母さん 夢 学校</p> <p>「子どもの権利条約が国連で採択され20年経ちました。」</p> <p>193の国と地域が条約を締結していることを紹介する。</p> <p>「子どもの権利条約は大きくわけて次の4つの子どもの権利を守るように定めています。そして、子どもにとっていちばんいいことを実現しようとうたっています。それはどんな権利だと思いますか。」</p> <p>生きる権利 育つ権利 守られる権利 参加する権利</p> <p>「条約の一部を紹介します。」</p> <p>「第1条 子どもの定義。18歳になっていない人を子どもとしています。」</p> <p>「第2条 差別の禁止 すべての子どもは、みんな平等にこの条約にある権利をもっている。」</p> <p>「第6条 生きる権利・育つ権利 すべての子どもは、生きる権利をもっている。」</p> <p>「子どもの権利は尊重されていますか。どうしてそう思いますか。」</p>	
10分	<p>・守られている。自分たちは平和に暮らしているから。</p> <p>・守られていない。世界には貧しい人たちがいるから。</p> <p>銃を持った少年が出てくる日清食品のCMを流す。</p> <p>「CMは何を訴えていますか。」</p> <p>・少年兵や少女兵がいること訴えている。</p> <p>「資料1の にどんな言葉が入りますか。」</p> <p>・よくやった</p> <p>・たたく</p> <p>・英雄</p> <p>「資料2の にどんな言葉が入りますか。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD ・黒柳徹子さんの記事
15分	<p>・怖かったから</p> <p>「感想を書こう」「発表しよう」</p>	

(6) 資料 1

<p>「今年は、内戦が終結したネパールを訪れ、14歳で兵隊になった女の子に会いました。大人が銃を渡し、人を撃つと 「怖い」と言う。今は社会から、 「抜いて」 今は社会</p>	<p>「今年は、内戦が終結したネパールを訪れ、14歳で兵隊になった女の子に会いました。大人が銃を渡し、人を撃つと『怖い』と震える。『怖い』と言うと麻痺を打って感覚をまひさせる。今は社会から、『人殺し』抜いてです」</p>
---	--

資料 2

<p>「隣のコンゴ(当時はザイール)東部のゴマの難民キャンプに避難していた5歳ぐらいの子どもの話です。親が亡くなった理由を尋ねると『わからない』と云う。でも、後から追いかけてきて『本当は知っているよ。殺されたんだ』と言います。なぜ最初に答えなかったか聞いた</p>	<p>「隣のコンゴ(当時はザイール)東部のゴマの難民キャンプに避難していた5歳ぐらいの子どもの話です。親が亡くなった理由を尋ねると『わからない』と云う。でも、後から追いかけてきて『本当は知っているよ。殺されたんだ』と言います。なぜ最初に答えなかったか聞いたら、『だってさっき通訳していた人が殺したんだもの』。20万人もいる難民キャンプに殺した側も殺された側もいて、自分の親を殺した人間にあっってしまう。</p>
--	---

資料 3

<p>「日本に暮らす私たちと、9割の子どもたちをつなぐものは何でしょう。」「難民キャンプで、『お母さん』って泣いている子どもに会ったことがありません。ちっちゃいのに、泣いてもお母さんは来ないってわかっているんですね。それに泣くには栄養も必要なんです。内戦が続いたエチオピアで『大きくなったら何になりたい』『エチオピアに聞きました。そっちは』と。いつ死んでしまっかわからない難民キャンプでも、自殺する子は一人もいません。恵まれている日本では、子どもが自殺します。とても残念です」</p>	<p>「日本に暮らす私たちと、9割の子どもたちをつなぐものは何でしょう。」「難民キャンプで、『お母さん』って泣いている子どもに会ったことがありません。ちっちゃいのに、泣いてもお母さんは来ないってわかっているんですね。それに泣くには栄養も必要なんです。内戦が続いたエチオピアで『大きくなったら何になりたい』『生きていたい』と。いつ死んでしまっかわからない難民キャンプでも、自殺する子は一人もいません。恵まれている日本では、子どもが自殺します。とても残念です」</p>
--	--

(7) 生徒の感想

私達は、ちゃんとした家もあって、毎日ごはんを食べられるような、裕福な生活をしている 反面、生きることが精一杯な子供もいて、考えさせられた。普通なら、ちょっとくらいのががママも許してもらえるとというのが日本だけど、わがママを言う余裕のない子どもたちもいっぱいいると思うと悲しくなる。小さい頃に人を殺さなければいけない状況にある少年兵の人達は、とてもつらいと思う。平和になればいいなあと考えた。世界には、恵まれない子供がまだまだたくさんいるんだなあと思いました。中には、少年兵や少女兵など大人に言われてやらなければならない。もしそむけば体罰のような

ものをあたえるなど苦しみながら生きていくと知ってとても悲しくなりました。また、内戦などに関わっている子供はみんな「生きたい」と思っていてすごいなと思いました。それに比べて日本ではこんな子供達の半分にもみたないくらいの苦労だけで自殺してしまったりと、もっと命を大切にしなければならないんだなと思いました。日本に生まれたことをもっと大切にしていかなければならないんだなと思いました。

子供達の権利にもいろいろなものがあった。でも、恵まれていない国の子供達は、それらの権利が守られていなかった。でも、恵まれていない国の子供達は必死に生きていた。日本は豊かだけど、そういう子供達がいる事を考えて生きたいと思った。

子どもの権利が守られているのは、ほんの一部の地域の子どもだけで、世界にはたくさん命を保つことでさえもむずかしいという子どもがいるんだと思った。親が殺されても泣けない子どもも中にはいて、悲しいなと思った。自分は今、本当にめぐまれた環境で育って生きているんだなと思った。感謝の心を持っていなければ、この子達にも失礼だと思った。

4 N I E 実践の内容 (その2)

- (1) 日時 通年
- (2) 担当者 岡部 仁
- (3) 生徒 中学3年生
- (4) 内容

新聞のコラム欄を読み、150字～200字の感想を書く。主な感想を学級通信に載せる。

斜面	米六リーグの記録を塗り替えた一打は、イチロー選手らしい内野安打だった。当たりの良くないショートへのゴロ。持ち前の俊足を生かした安打だ。わけもなくあつさり達成したように見える。簡単にはすぎない。イチローの流儀(小西廉三著・新潮社)でのみ込めた。野球と向き合う真摯さが詰まった一冊だ。球場入りは、ほかの選手より1時間早い。ストロークを兼ねたマツサージに充てる。絶対に運刻をしないことが彼の野球に対する厳格(は元同僚の井だ)遺言を大事にするのも一筋だ。日本のオリックス時代からイチロー選手の手がけしてきた久保田十一さんが、米国の合宿で見た光景がある。打撃を終えた選手がそれぞれのバットを生手に放る中、イチロー選手はバットをクラブで包み、赤ん坊を抱くようにそっと置いた。久保田さんは、バット作りの名人だ。イチロー選手はプロ入りした7年前、名人と出逢い、その手になる同じ型のバットを使い続けている。日本にいたとき、三振を喫してバットをたたきつけたことが一度あった。その非礼を後久保田さんにわびている。◆自分は幸せな人間だと思う。不幸な人間って、何と何の苦勞もなくできてしまう人です。でも、それでは吉服の喜びがなくなってしまう。大リーグ1年目編めした言葉だという。8年後の今も同じ気持ちでいるに違いない。
-----------	--

やっぱりイチローは、すごいと思った。とっても難しいことなのに、いとも簡単にやっちゃった。これは、やっぱり日々の努力と野球が好きだからできたことだと思います。好きなことに夢中になって、毎日その自分の持っている夢に向かって、どんなにつらくても、イチロー選手は日々の努力のおこたらないのはすごいと思った。僕も毎日夢にむかって努力したいと思いました。

斜面	平安時代の初めころ、朝廷にサケを貢いでいた御三家は、越後(新潟県)、越中(富山県)、それ信濃だった。市川健夫さんが当時の史料(延喜式)を引き、信州学大全に書いている。サケの特産地だったわけだ。北海道や東北地方には、朝廷の力が及ばなかった時代である。越後や越中が主力だったのは争う者として、内陸部の信濃には驚かされる。内臓を除いて舌で干したサケのほか、サケの頭を干した水頭、卵を塩漬けにした筋子なども献上されていた。◆千曲市の尾代遺跡群から採取した縄文時代の土から先ごろ、サケの背骨や歯が見つかった。千曲川にほとんどのサケがある。縄文人が日本海からさかのぼってきたサケを捕り、住居で食べた残りの骨や歯らしい。信濃では古代からサケ漁が盛んだったことが裏付けられたともいえる。市川さんによれば、信濃川水系のサケはかつて千曲川では最上流部の爾久地方、犀川では支流の梓川の高地まで遡上していた。ところが発電用ダムが下流にでき、阻まれる。いまでは新潟県境に近い東京電力・西大橋ダム(飯山市)にたどり着くのがやっと、という状況だ。◆たまたま、長岡日本信濃川発電所(新潟県)での違法取水が発覚。国に水利権を取り消され、川の流れが戻ったのは、サケの遡上には好都合だ。関係企業に放水量の確保や魚道の改良を求めざるを得ない。
-----------	---

平安時代に信濃がサケを貢いでいた御三家の1つだと知って驚いた。しかも、献上されるときは、いろいろなくふうをされていたことにも驚いた。昔、サケが特産だったのに今は、発電用ダムがあって阻まれているのはとても残念に思った。野生の生物が人間の何かによって、今までやってきたことができなくなってしまうのは残念だと思う。だからもっと生き物を大切にしていきたい。

天声人語

一昨日は元寇の追討... 二の光正は島を長崎に下され...

「核なき世界」とオバマ大統領は唱えたけど、実際はアメリカなどの発展国に核が大量にあるのだから、今後オバマ氏はどういう行動をするのかに注目したいです...

斜面

親を亡くした子どもたちの進学を支援する「あしなが盲英会」への募金額が、この春ぐんと伸びた...

春秋

10年間は絵で金をもらうな。古典の研究を怠るな。一流のものだけを見る。模写を続ける。

「10年間は絵でお金をもらうな」これはただキビシイだけの言葉だと思われるかも知れませんが、その中にもやさしさがあると思われま...

5 研究のまとめ

(1) 読売新聞社出前授業「ことばの授業」

『春日さんが「このように書けば?」と教えてくれたので、それからはスムーズに書くことができた。自分を見つめ直すよい機会になった』

「思い出を振り返っているととても楽しかった。1つ思い出すとまた1つ思い出して、いろいろなことを思い出しました。それをコラムに書きました。あのコラムは本当に自分の説明書のようになりました」

記者からの指導を受けコラムを書くことで自分を振り返る機会になった。現在、過去、未来の順に書くコラムの書き方を真似て自己推薦文を書いてきた生徒もいた。

(2) 記事にどんな文章が入るか推測する。

資料 1 では人を撃って偉いと誉められ、怖いといえは麻薬で麻痺させられ、戦争が終われば人殺しと言われる。また資料 2 では通訳をしていた人が実は自分の親を殺した人だった。日本では考えられないことが世界では行われていることを空欄を埋めながら推測することができた。

(3) コラムの感想を書く。

毎週課題にすることで文章量が増えている。また内容も深まってきた。学級通信で知らせることで他の人がどんな感想を書いたか知ることができ、わかりやすく伝えるために練習にもなっている。

6 残された課題

N I E 実践校でも年間通してすべての新聞を使えるようにしてもらいたい。少なくとも号外が出るような記事は、各校に配布していただくとありがたい。また実践校の指定が終わっても、新聞が無償で提供されると教材研究に役立つのでぜひ検討してもらいたい。